

# ふれあいかんだより

6

かわさきし かん  
川崎市ふれあい館

〒210-0833 かわさきしかわさきくさくらもと  
川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800  
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2024.6.1

No.422

くしょうかいけつせきにしや ちえ かんいちや  
苦情解決責任者 崔 江以子  
すずき けん  
鈴木 健

かわさきしよかん みらいきよくせいしやねんしえんしつ  
川崎市所管 こども未来局青少年支援室 (Tel.044-200-3083)

## ちいき かた おし 地域の方からサッカーを教えてくださいました。



4月17日(水)にふれあい館を利用しているこどもたちと桜川球場開放イベントに参加するプログラムを実施しました。野球場の外野部分の天然芝を使わせていただいて、そこで1日サッカー教室を開きました。元サッカーコーチの地域講師を招いて、パス練習やドリブル練習、ミニゲームを行いました。小学1年生から6年生までの15名が参加があり、みんなでサッカーを楽しみました。桜川球場では、毎月第三水曜日13:30~16:00の時間帯で地域に一般開放しています。ぜひ利用してみてください。

## かい さんか トラヂの会でアジアンフェスタに参加しました。



4月27日(土)に川崎駅前で行われた「アジアンフェスタ」に在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」でステージの出演をしました。今年から場所を新たに、市役所の新庁舎の1階のスペースで発表となりました。ステージの裏に大きく設置されたモニターには過去に出演した際の写真が映し出されハルモニ(あばあさん)たちは懐かしみながら出演をしました。韓国・朝鮮の民謡や舞踊、最後には輪踊りに2回のアンコールがあり大盛況となりました。これからも多文化共生のパイオニアとして活動を続けていきます。

## にゅうもんけんしゅうはじ ボランティア入門研修が始まりました。



5月10日(金)から日本語ボランティア入門研修が始まりました。川崎市の地域日本語教室でボランティアに携わるための講座になっております。全五回の研修の一回目は、地域の外国人市民と共生していくために大切なことについて受講者の方とともに考える講座となりました。川崎市が今も地域の日本語教室に「識字学級」というキーワードを用い理念を大切にしているということを通じて、日本語ボランティアとして活動していくことの価値を考えるきっかけとなりました。

# ふれあい館 6月の予定

**こども部門** 子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

|         |        |             |                            |
|---------|--------|-------------|----------------------------|
| ぴよぴよタイム | 4日(火)  | 10:30~11:00 | 身長・体重が測れます。大きくなったかな？       |
| 缶バッジづくり | 18日(火) | 10:30~11:00 | お気に入りの写真を缶バッジにできます。※材料費50円 |
| きのおもちゃ  | 27日(木) | 10:00~11:00 | やさしいきのおもちゃで遊べます。           |

## ろばを利用される皆さんへ

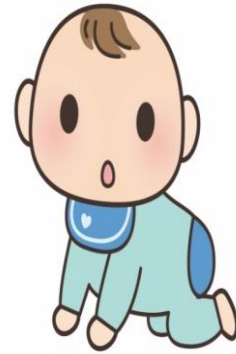
毎日9時30分~17時まで利用できます。

来室したら名簿に名前をかいてください。

お部屋での飲食はできません。水分補給はOKです。

おむつなどのごみは、お持ち帰りください。

不明な点はスタッフにお声がけください。



キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

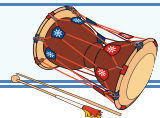
●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより(あそぼ)をみてね

|      |         |     |                  |
|------|---------|-----|------------------|
| 木工工作 | 月1回 金曜日 | 3時~ | 申し込みはあそぼを見てください。 |
|------|---------|-----|------------------|

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月(あそぼ)のたより(あそぼ)があります。

●民族文化サークル

|         |        |          |                            |
|---------|--------|----------|----------------------------|
| 舞踊クラブ   | 毎週 火曜日 | 4時~5時    | クラブ紹介を行います！入りたい子は見学にきてください |
| ハロハロクラブ | 毎週 水曜日 | 3時~6時    | 学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。    |
| 子どもチャンゴ | 毎週 金曜日 | 4時~5時30分 | 韓国・朝鮮の打楽器を習います             |



●中高生の活動

|         |           |       |  |
|---------|-----------|-------|--|
| 小・中学生学習 | 毎週 火・水・木曜 | 7時~9時 | 主に新渡日外国人の小・中学生(水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生(火曜日・木曜日)の基礎学力保障のための学習会 |
| サポート    | 毎週土曜      | 1時~3時 |  |

たぶんかこうりゅうがっきゅう  
多文化交流学級part I

せかいあじ  
世界を味わおう♪ボリビア料理教室

つうやくかつやくちゅう  
通訳で活躍中のボリビア出身の方がボリビア定番料理「マハディート」の作り方を  
おし  
教えてください。マハディートは炊き込みご飯に揚げバナナを乗せた料理です。

にちじ がつにちど ばしよ かわさきし かん かわさきくさくらもと  
日時 6月8日(土) 10:00~11:30 場所 川崎市ふれあい館 川崎区桜本1-5-6

さんかひ ざいりょうひ えん ていいんせんちやく くみ  
参加費 材料費として500円 定員先着10組



もうこみ てんわらいかん うけつけます。 044-276-4800  
申し込み 電話か来館で受け付けます。

※アレルギーがある方は事前にご相談ください。

しゅさい かわさきし かん かわさきしきょういくいんかい  
主催 川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

しきじがっきゅう  
●識字学級

|           |                                |  |
|-----------|--------------------------------|--|
| ようび<br>曜日 | まいしゅう かようび きんようび<br>毎週 火曜日・金曜日 | さんかひ おりょう きょうざいひ じっぴ<br>参加費 無料(教材費は実費) |
| じかん<br>時間 | 10:00~11:30                    |  |

●高齢者 ざいにちこうれいしゃ せだい みんぞく むす こうりゅうじぎょう こうれいしゃ せいかつそうだん  
在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

ざいにちこうれいしゃこうりゅう  
在日高齢者交流クラブ「トラジの会」

ざいにちこうれいしゃ じしゅかつどう かんせんよぼう かつどう まいしゅうかよう  
在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。毎週火  
曜日10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800まで  
お電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにくくなっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

● 色々な書類の申請のお手伝いをします！

就学援助など書いて学校に提出しないといけないものや役所から送られてきた書類が言葉がわからなくて知らなかった人、申請のしかたがわからない人のお手伝いをします。  
連絡先：ふれあい館 電話044-276-4800



▼最近気になる

トピックの一つが小学生の英語学習である。従来は中学生

から英語の学習が始まっていたが、現在は小学三年生から週に一回程度英語の学習が始まっている。早い段階での英語学習がもたらす影響はおおきい。もちろんメリット・デメリットあるだろうが、小学生と一緒に学習をしているとこどもたちの英語を学習する意欲の高さに驚かされる時がある。一緒に宿題をやらうよとの声掛けではなかなか響かないこどもも、英語で曜日をおぼえてみない？と伝えると自ら暗唱を始める姿をよく見る。▼いまでは多くのこどもたちがスマートフォンを手に入れている。現在は高学年児童のスマートフォン所持率は四割を超えているとの調査もある。見ていると友達同士で連絡を取り合うだけでなく、様々なSNSを利用しているようだ。世界各国からの投稿に反応していたり、逆にSNSに投稿していたりするこどもも少なくない。今まで主流であった

情報が一方通行に流れるテレビやラジ

オなどのメディアと異なり、自ら世界に発信ができるPCやスマートフォンはこどものコミュニケーションの在り方も変化させているのかもしれない。こども

たちにとって外国語はもはや、SNSを楽しむためのツールなのだろうか。▼

社会のデジタル化は日常を大きく変化させている。その一つが書くことだ。電子機器の普及は老若男女問わず日常における「書く」を合理的に省いてきた。この文章も手書きであれば非常に大きな負担になるだろう。だがこどもたちの学習には今なお書くが伴う。漢字の練習や算数ドリルなど書くことは必須だ。

しかし語学の初歩はその限りではなく、声に出して読むことそれ自体が学習になりうる。英語の暗唱を楽しむこどもの様子を見ていると、もはや書くことは当たり前のことではなく不慣れなことになっていそうだなと思う。▼加速度的に変化する社会になんとか適応しようとするこどもたちをみて、私たちはどう変化していくべきなのだろうか。